

# MAX

# 取扱説明書

プロ用

このたびは、マックス 充電式メッシュ筋カッタをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ごぞいます。

本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

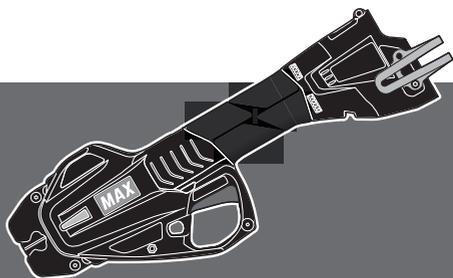
## ⚠ 警告

- 使用前に取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 使用前に安全装置が完全に作動するか必ず確認する。
- 揮発性可燃物や引火のおそれがある物のそばでは絶対に使用しない。
- 雨の中、水のかかる場所では使用しない。
- 濡れた手で絶対に触れない。
- 昇圧器などのトランス類、直流電源や指定以外の発電機では使用しない。
- 使用時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 機械作動中、先端部・刃には絶対に手を近付けない。
- 移動時、本機の調整・修理、刃の交換時は、本体から電池パックをはずす。
- 長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置、保管しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に分解・改造しない。

この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス充電式  
メッシュ筋カッタ  
PJ-C060



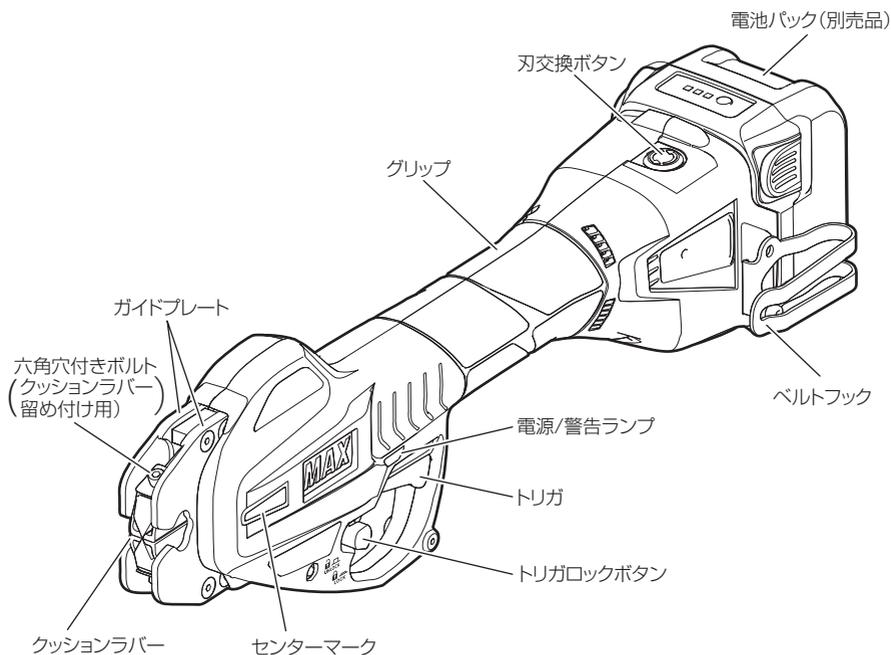
# 目 次

---

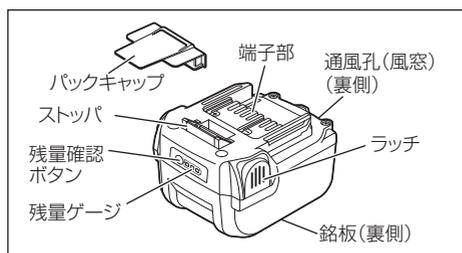
各部の名称	3
安全作業のために	4
安全上のご注意	5
メッシュ筋カッタの安全上のご注意	10
安全装置について	11
仕様及び付属品	13
切断対象径	14
使用方法	15
電池パックの取り付け、取り外し方	15
作動方法	16
切断方法	18
オートパワーOFF機能について	19
刃の交換方法	20
STEP1. 刃の取り外し方	20
STEP2. 刃の取り付け方	24
クッションラバーの交換方法	28
電源/警告ランプの見方と処置方法	30
モータ保護機能	31
対象切断部材に刃がかみこんでしまった場合の対処方法	31
電源/警告ランプでエラーが表示されず故障かなと思ったとき	32
ベルトフックの取付方法	33
保守・点検	33
保証、アフターサービスについて	34
本体にある記号および図解	35

# 各部の名称

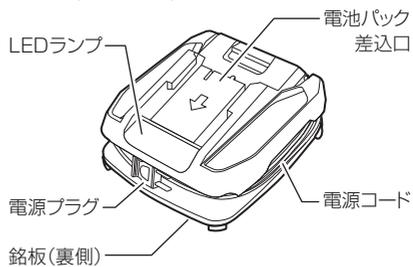
## 【本体】



## リチウムイオン電池パック(別売品) (JP-L91450A)



## リチウムイオン充電器(別売品) (JC-925A)



# ⚠ 安全作業のために

本機は、ワイヤーメッシュ(溶接金網)を切断することを目的とした工具です。指定以外の用途、使用方法是重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

- 安全作業のために、ご使用前に「取扱説明書」をすべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- 火災、感電、重傷、などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## ■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意**、 **ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**ご注意**

製品、付属品の取扱いおよびメンテナンスなどに関する重要なご注意。

## 絵表示について



「禁止」を表します。



「必ず行うこと」を表します。

# ▲ 安全上のご注意

## ▲ 警告

### 作業環境

- (1) 作業場所は常に整理し、十分明るくする。
  - ・散らかった暗い場所で作業すると、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。
- (2) 可燃性の液体、ガスまたは粉じんがある場所で充電工具を使用したり、充電しない。
  - ・充電工具から発生する火花は、爆発や火災の原因になります。
- (3) 作業関係者以外、特に子供を作業場所に近づけない。また、充電工具や充電器のコードに触らせない。
  - ・注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

### 電気に関する安全事項

- (1) 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用する。また、電源プラグの改造をしない。
  - ・改造されていない電源プラグ及びそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- (2) 金属製のパイプや暖房器具などのアース（接地）されているものに身体を接触させない。
  - ・身体がアース（接地）されたものと接触した場合、感電するおそれがあります。
- (3) 充電工具、充電器、電池パック雨や水に濡らしたり、湿った、または濡れた場所で使用しない。
  - ・短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。
  - ・感電のおそれがあります。
- (4) 充電器の電源コードを乱暴に扱わない。
  - ・電源コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
  - ・電源コードを熱、油、角のどがった所、動いているものに近づけないでください。
  - ・電源コードが損傷したり絡まったりすると、感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。
- (5) 使用環境に合った延長コードを使用する。

### 作業者に関する安全事項

- (1) 油断しないで十分注意して作業を行う。
  - ・充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・疲れていたり、アルコール又は医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
  - ・一瞬の不注意、軽率な行動、非常識な行動が事故やけがの原因になります。
- (2) 安全保護具を着用する。
  - ・充電工具を使用する際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。
  - ・粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用してください。飛散する切粉や粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
  - ・作業時はヘルメット、滑り防止安全靴などを着用してください。
  - ・安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。



# ▲ 安全上のご注意

## ▲ 警告

- (3) 意図しない始動は避ける。
  - ・トリガに指を掛けて運ばないでください。
  - 意図せず充電工具が作動して、事故の原因になります。
- (4) 無理な姿勢で作業をしない。
  - ・転倒して、けがの原因になります。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- (5) きちんとした服装で作業する。
  - ・だぶだぶ(余裕のある)の衣服やネックレスなどの装身具は巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
  - ・髪、衣服及び手袋を刃部に近づけないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーで覆ってください。
- (6) 充電工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をする。
  - ・不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

## 充電工具の使用および手入れ

- (1) 充電工具は能力に合った作業に使用する。
  - ・充電工具に過剰な負荷を加えて使用しないでください。
  - ・用途に合った正しい充電工具を使用してください。適切に充電工具を使用することによって、より効率よく、安全に作業することができます。
- (2) 次の場合はトリガをロックし、電池パックを本体から抜く。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・本機の調整をする場合。
  - ・刃を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。不意に本機が作動して、事故やけがの原因になります。
- (3) 使用しない場合は、きちんと保管する。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。
  - ・充電工具と充電器の使い方を理解していない又は使い慣れていない場合、及び子供には充電工具と充電器を使用させないでください。
  - ・事故の原因になります。
- (4) 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、異物や端材の挟み込み、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認する。
  - ・保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
  - ・安全装置が確実に作動するか使用前に必ず点検してください。
  - 正常に作動しない場合は使用しないでください。
  - ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、すぐ使用を中止してください。
  - ・切断作業時に工具先端に端材の挟みがある場合には端材を取り除いてください。
  - ・切断対象部材の周辺に端材や石などが無い事を確認してください。端材や石を工具先端が挟み込み故障の原因になります。



# ⚠ 安全上のご注意

## ⚠ 警告

### (5) 指定の付属品を使用する。

- ・この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品以外のもは使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ・充電工具、付属品は作業条件および実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の充電工具に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に充電工具を用いる場合、危険な状況になるおそれがあります。

### (6) 充電工具、電池パック、充電器を大切に手入れする。

- ・充電工具、電池パック、充電器、付属品を適切に保守してください。
- ・より安全に性能を発揮させるため、工具は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。
- ・グリップは、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油、グリス及び剥離剤などが付かないようにしてください。
- ・充電工具、電池パック、充電器の手入れを怠るとけがの原因になります。

## 電池パックに関する安全事項

### (1) 電池パックは専用の充電器を使用して充電する。

- ・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。

### (2) マックスが指定した専用バッテリー以外は、使用しない。

- ・工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

### (3) 電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。

- ・電池パックの端子に金属を接触させたり、クリップ、硬貨、釘、ねじなど金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。
- ・電池パックを使用しないときは、必ずパックキャップをかぶせてください。

### (4) 電池パックの液が漏れた時は、素手で液を触らず、以下の処置をする。

- ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
- ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
- ・液漏れた電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。

### (5) 破損又は改造した電池パックを使用しない。

- ・発火、破裂もしくはけが、または予期しない動作を生じるおそれがあります。

### (6) 火又は高温に電池パックをさらさない。

- ・火災又は高温にさらすと発火・破裂・有害物質の出るおそれがあります。

### (7) 取扱説明書の指示に従って充電する。

- ・取扱説明書で指定する温度の範囲外では、電池パックを充電しないでください。
- ・不適切又は指定範囲外の温度で充電すると、発火・破裂のおそれがあります。

# ⚠ 安全上のご注意

## ⚠ 警告

### 修理

#### (1) 充電工具の修理は、専門店で依頼する。

- ・サービスマン以外の方は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常を感じたらただちに使用を中止し、マックスエンジニアリングサービス(株)へお買い求めの販売店様を通じて点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店様を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

### その他の安全事項

#### (1) 指定した電池パック以外は充電しない。

- ・指定した電池パック以外を充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。

#### (2) 正しく充電する。

- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類、直流電源やマッチング確認済みの指定以外の発電機では使用しないでください。充電器の故障の原因や異常発熱により火災のおそれがあります。

#### <マッチング確認済み機種>

メーカー名	分類名	機種名	定格出力	定格電圧	定格電流
株式会社やまびこ (新ダイワ)	インバータ 発電機	IEG2800M	2.8KVA	単相 100V	28A
		IEG2801M	2.8KVA	単相 100V	28A

- ・温度が5℃未満、または温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
- ・使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
- ・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因となります。

#### (3) 濡れた手で充電器の電源プラグに触れない。

- ・感電のおそれがあります。

#### (4) 充電器の電池パック装着部にある充電用端子に金属片・水などの異物を近づけない。

#### (5) 充電器は充電以外の用途に使用しない。

#### (6) 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて、充電を中止する。

- ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

#### (7) 火災のおそれがあるため次のことをしない。

- ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
- ・通風孔(風窓)のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。
- ・通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
- ・綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

## ⚠ 安全上のご注意

### ⚠ 警告

- (8) ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。
  - ・爆発や火災のおそれがあります。
- (9) 充電器の取扱説明書を必ず確認する。
- (10) 異常を感じたら絶対に使用しない。
  - ・作動しない、回転が止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。
  - ・修理の際は決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
  - ・そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- (11) 騒音防止規制について。
  - ・騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下でご使用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご使用ください。
- (12) 電池パックに穴をあける、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えない。
  - ・発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- (13) 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。
- (14) 電池パックにほこり、土などがたまらないようにする。
  - ・性能が低下したり、故障の原因になります。
- (15) バッテリーはマックス製品以外に取り付けて使用しない。
  - ・火災、発熱、破裂、液漏れのおそれがあります。

# ⚠ 充電式メッシュ筋カッタの安全上のご注意

## ⚠ 警告

- (1) 機械作動中、先端部・刃には絶対に手を近づけない。
  - ・怪我をするおそれがあります。
- (2) 機械を人体に絶対に向けない。
  - ・機械を人に当て、誤って作動させた場合は思いがけない事故につながります。また、先端開口部・刃付近に手足などを近づけての作業は危険ですから絶対にしないでください。
- (3) 連続作業後は本機を休ませる。
  - ・連続して使用した場合は、モータの温度が上昇します。そのまま使用するとモータ損傷等の故障、事故の原因となる事がありますので、本体が熱くなりましたらトリガをロックし、しばらく休ませて熱が下がってからお使いください。
- (4) 移動する際は必ずトリガをロックする。
  - ・不意な始動は、事故や破損の原因となります。

## ⚠ 注意

- (1) 刃の点検や交換する時、異常を感じた時、使用しない時には、トリガロックをロックし、必ずトリガから手を離し、電池パックを抜く。
  - ・思わぬ作動につながり、事故の原因になります。
- (2) 切断対象径を確認する。
  - ・必ず、作業前に切断対象径を確認し、作業してください。(切断対象径は14ページを参照) これ以外で使用されても切断できません。
- (3) 必ずマックス純正の刃を使用する。
  - ・マックス純正の刃以外を使用すると、故障の原因となります。純正刃でも使用せず長期間放置すると錆が発生します。(純正刃は20ページを参照)
- (4) 錆が発生した刃を使用しない。
  - ・故障の原因となります。
- (5) 刃をねじるような切り方をしない。
  - ・対象部材に対して垂直に刃をあてるようにご使用ください。また部材が切り切れなかった際、ねじるような切り方をしないでください。刃が飛散したり、機械本体が故障してしまうリスクが発生します。
- (6) 大切に扱う。
  - ・落としたり、ぶつけたりしますと故障の原因となります。
- (7) 本機を収納保管する。
  - ・作業終了時、または使用しない時は、必ず本機のトリガをロックし、本体より電池パックを外してください。そしてキャリングケースに本体を収納し、電池パックは短絡(ショート)防止のバックキャップをかぶせて収納してください。
- (8) 乾燥した涼しいところに保管する。
  - ・充電工具、電池パックおよび充電器を保管する際は、周囲温度が50℃以上にならず、直射日光の当たらない乾燥した風通しの良いところに保管してください。保管が長期(1か月以上)にわたる場合は、周囲温度が30℃未満の冷暗所に保管してください。また保管場所は子供の手の届かない高いところや鍵のかかったところにしてください。
- (9) 本機は乾いたやわらかい布で拭く。
  - ・濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

# ▲ 安全装置について

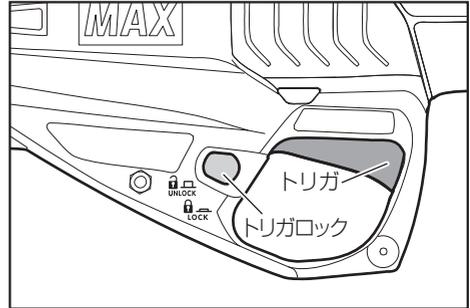
切断作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

## ▲ 警告

●安全装置が確実に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

### ●トリガロック装置

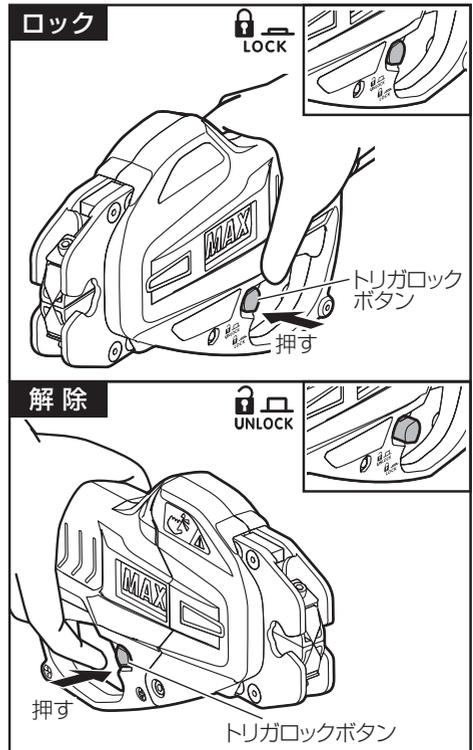
本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）する装置です。



- ①作業を行っているとき以外はトリガロックをLOCK（ロック）の位置にセット（トリガをロック）し、電池パックをはずしてください。
- ②作業を始める場合はトリガロックをUNLOCK（アンロック）の位置にセットしてください。

解除の際は本機を後ろから見て、トリガロックボタンを右側から一杯押し、解除してください。

- ※左側から一杯を押すとロックされます。
- ※使用しないときは、ロック側にセットしておいてください。



# ⚠ 安全装置について

点検により異常が発見された場合、ただちに使用を中止してください。

修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

使用前に安全装置が完全に作動するか必ず確認してください。

## 1. 安全装置および部品の点検

- トリガをロック(引けないように固定)できるか。  
(トリガロックについては11ページを参照)
- 使用前に、損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店様を通じてお申し付けください。
- メインスイッチで始動、及び停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

## 2. 電池パック接続時の点検

使用前には電池パックを本機に接続し、下記の確認を必ず行ってください。

- 電池パックを接続しただけで作動音がしないか。
- 発熱や異臭・異音がしないか。

電池パックを接続しただけで作動したり、発熱や異臭・異音がある場合は故障です。

そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

# 仕様及び付属品

商 品 名	マックス 充電式メッシュ筋カッター
商 品 記 号	PJ-C060
寸 法	電池非装着時
	(H) 140mm (W) 100mm (ベルトフック含む) (L) 383mm
質 量	2.2kg (電池非装着時)
モ ー タ	ブラシレスDCモータ
切 断 能 力	3~6mm ※鉄筋格子(JIS G 3112)、溶接金網(JIS G 3532) 相当
最大切断能力	6mmの2本同時切断可能
使用電池パック	マックスリチウムイオン電池パック JP-L91850A・JP-L91450A
モ ー タ 電 圧	DC18V・DC14.4V

## 〈満充電、6mm切断時〉

使用電池パック	JP-L91850A	JP-L91450A
切断時間	0.6秒	0.7秒
1充電カット数	約1,400カット	

※部材や電池の充電状態で時間は変化します。

## 〈電池パック〉別売品

商 品 名	マックスリチウムイオン電池パック	
商 品 記 号	JP-L91850A	JP-L91450A
電 池 種 類	リチウムイオン電池	
公 称 電 圧	18V	14.4V
公称容量(定格容量)	5.0Ah (4.9Ah)	5.0Ah (4.9Ah)
付 属 品	パックキャップ [短絡(ショート)防止用]	
質 量	0.6kg	0.5kg

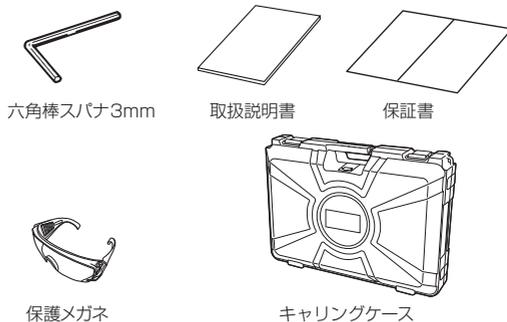
## 〈充電器〉別売品

商 品 名	マックスリチウムイオン充電器	
商 品 記 号	JC-925A	
電 源 ( 入 力 )	AC100V 50/60Hz 220VA	
充電電圧/電流(出力)	DC14.4V/4.0A DC18V/4.0A DC25.2V/2.8A	
充 電 時 間	JP-L91850A	JP-L91450A
	実用充電：約65分(容量の約80%) 満充電：約80分(容量の約100%)	実用充電：約55分(容量の約80%) 満充電：約80分(容量の約100%)
質 量	0.7kg	
使用温度範囲	5℃~40℃	

※上記仕様は改良のため、主要機能および形状などが変更されることがありますのでご了承ください。

## 〈付属品〉

	PJ-C060
本体	○
電池パック	—
充電器	—
キャリングケース	○
六角棒ス パナ3mm	○
取扱説明書	○
保証書	○
ベルトフック (出荷時装着済)	○
保護メガネ	○



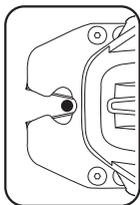
※上記仕様は改良のため、主要機能および形状などが変更されることがありますのでご了承ください。

## 切断対象径

下記の切断対象径にてご利用できます。(但し、対象材に隙間ができていない場合や、使用方向によっては切断ができないことがあります。)

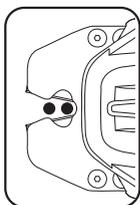
### <PJ-C060>

#### ■1本の切断



最小	最大
3mm	6mm

#### ■2本の切断



最小	最大
3mm × 3mm	6mm × 6mm

※鉄筋格子(JIS G 3112)、溶接金網(JIS G 3532)相当の部材を対象としております。

対象以外の強度の部材を切断しますと、故障の原因となります。

※伸びの大きい材質のものは完全に切れない場合があります。

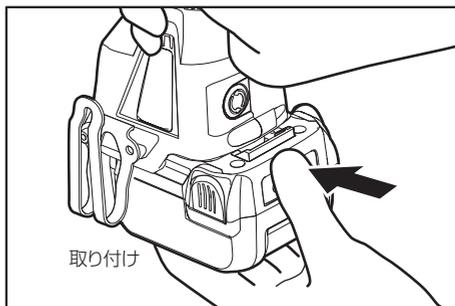
# 使用方法

## 電池パックの取り付け、取り外し方

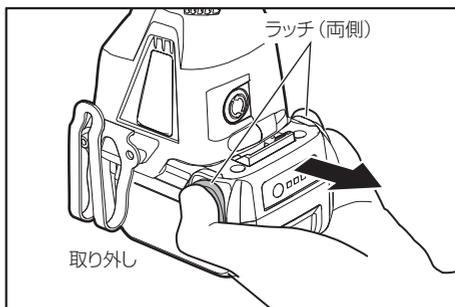
### 警告

- 電池パックを本機に取り付け、取り外しをするときは、トリガをロックする。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取り付けられていることを必ず確認する。  
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して怪我などするおそれがあります。

取り付けは、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



電池パックを本機から取り外すときは、左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。



### ⚠ 警告

●周囲の安全を確認する。

ワイヤーメッシュ(溶接金網)を切断する際に、切断片が飛んで負傷するおそれがあります。周囲の安全を充分にお確かめのうえ、作業を行なってください。

●トリガが切れていること、トリガロックがロック位置になっていることを確認する。

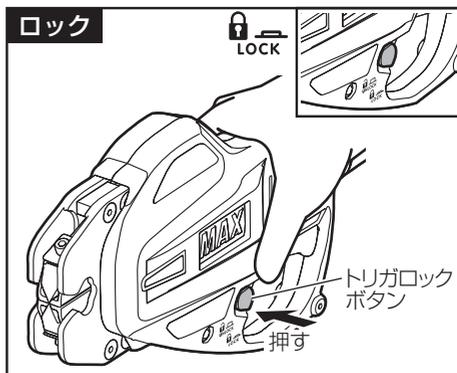
トリガが入っているのを知らずに電池パックを取り付けると、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。トリガを引き、離れたとき、トリガが戻ることを必ず確認してください。

●刃の取り付けボルトが緩んだり、刃が破損・変形していないことを確認する。

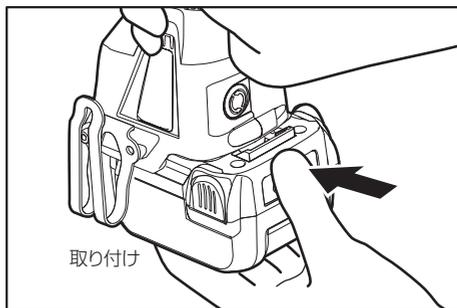
刃を取り付けている六角穴付ボルトが緩んでいないか、刃が破損・変形していないか確認してください。ボルトが緩んだ状態や刃に破損・変形がある状態でご使用になりますと、事故の原因になります。

### ⚠ 警告

- 必ず本機のトリガがロックされていることを確認する。



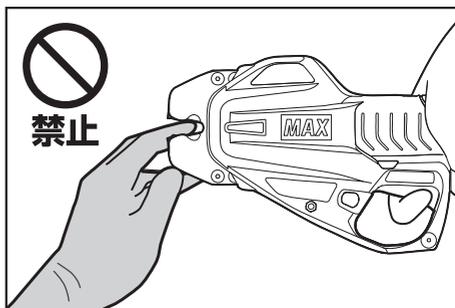
- ①電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



## 作動方法 (つづき)

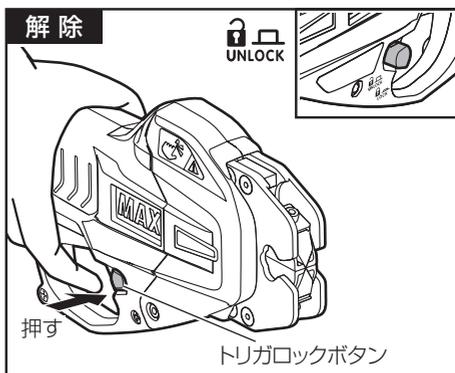
### ⚠ 警告

- 先端部・刃には絶対に手を近づけない。

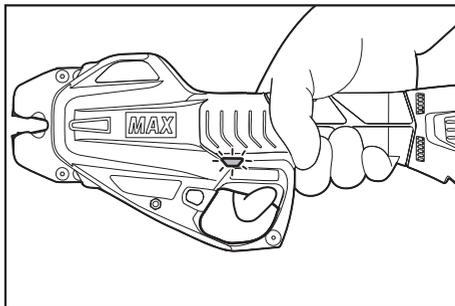


トリガロックをUNLOCK (アンロック) の位置にセットしてください。

- ※使用しない時は、ロック側にセットしてください。



- ②トリガを操作すると電源がONになります。電源/警告ランプが緑点灯することを確認します。点灯しない場合、電池パックを充電してください。



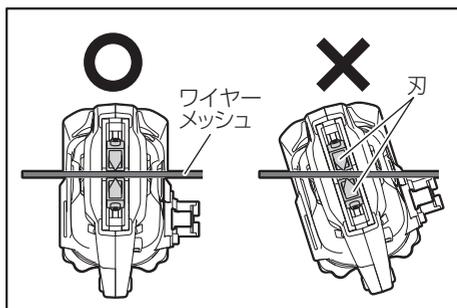
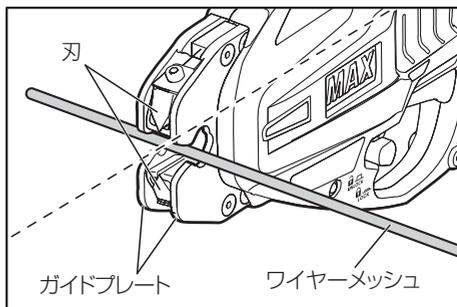
## 切断方法

- ①ワイヤーメッシュ (溶接金網) を切断口に、刃に対して直角になるようにセットしてください。切断時にも刃に対して直角を保ちます。

### 警告

- ワイヤーメッシュ(溶接金網)を切断口に、刃に対して直角になるようにセットする。

この調整を怠りますと、切断の方向その他の条件によっては、切断片が高く跳ねたり強く飛んだりして事故の原因になります。

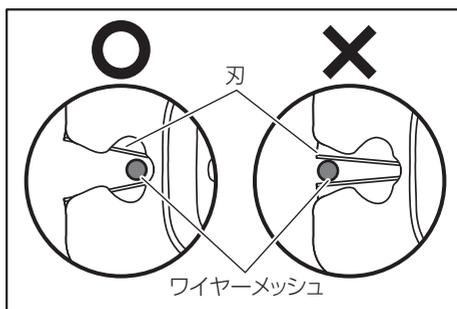


- ②ワイヤーメッシュ (溶接金網) を刃と刃の間かつ、ガイドプレートにあたるように間に深くセットください。

### 警告

- ワイヤーメッシュ(溶接金網)を刃と刃の間にガイドプレートにあたるように深くセットする。

セットする位置が浅いと、切断の瞬間に切断対象部材の切断片や断片が飛ぶことがあります。危険です。刃が破損する原因にもなりますので、正しく部材をセットしてください。

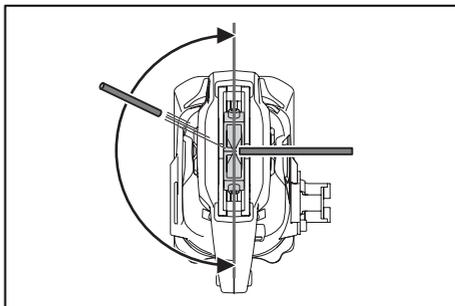


## 切断方法 (つづき)

### 警告

- ワイヤーメッシュ(溶接金網)を短く切断するときは、周囲、特に右図の矢印の範囲に人がいないことを確認する。

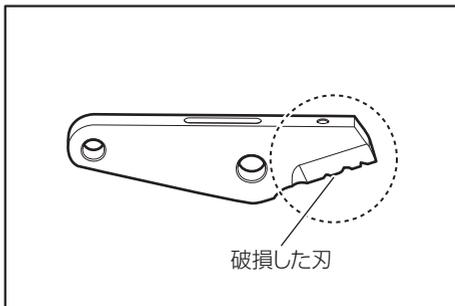
短く切断すると、切断片が右図の矢印の範囲で飛ぶことがあります。周囲の安全を確認してから使用してください。



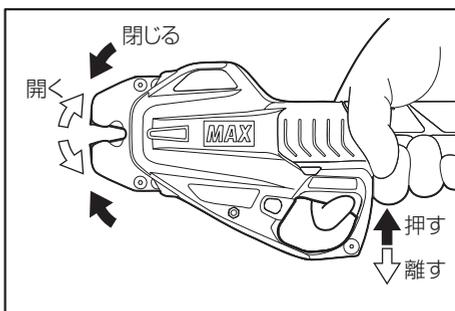
### 警告

- 破損したり変形した刃は使用しない。

破損 (刃欠け・ひび割れ) したり、変形した刃は速やかに交換してください。ワイヤーメッシュ(溶接金網)切断の際に外れたり、割れたりして事故の原因になります。



- ③トリガを引くと刃は閉じる方向に動きます。トリガを続けると部材が切断された時または刃と刃がぶつかる前に停止し、開く動作をします。またトリガを離すと刃は開く方向に動き開ききった位置で停止します。



## オートパワーOFF機能について

オートパワーOFF機能とは、電源/警告ランプが緑点灯している時に、10分以上トリガが引かれない状態が続いた場合(切断作業をしない場合)、電池パックの消費をおさえるために自動的に電源をOFFにする機能です。

オートパワーOFF機能が作動すると、電源/警告ランプは点灯していない状態となります。この状態から再起動する場合には、一度電池パックを抜き挿しをしてから、再びトリガを一度引きますとONになります。この時電源/警告ランプが緑点灯することを確認します。緑点灯しない場合、電池パックを充電してください。

# 刃の交換方法

## 警告

- 刃の交換の際は、必ず手袋をはめて作業する。
- 安定した作業台の上で作業する。

刃の交換方法はリンクでもご確認をいただけます。

<https://play.doonut.jp/ct3cstirb0es71492es0?sid=2&oid=574>



## STEP1. 刃の取り外し方

- ① マックス充電式メッシュ筋カッタ用  
専用替刃を用意します。

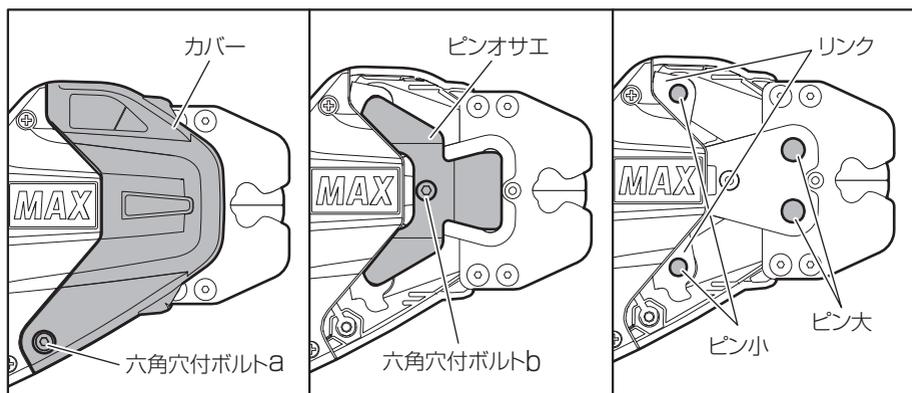
## 警告

- 指定された刃以外は使用しない。  
指定以外の刃を使用すると、本工具が故障するおそれがあります。必ず指定の刃をご使用ください。

品番	PJ91755
商品名	C06S

- 錆びた刃を使用しない。  
錆びた刃を使用すると、故障を引き起こす可能性があります。

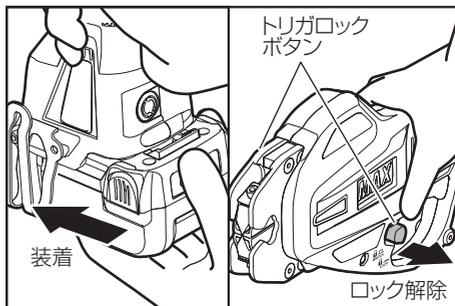
## 【先端部の構造】



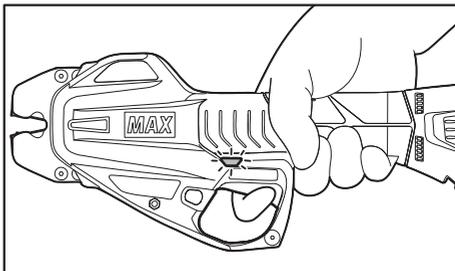
## STEP1. 刃の取り外し方(つづき)

②刃交換モードの状態にします。

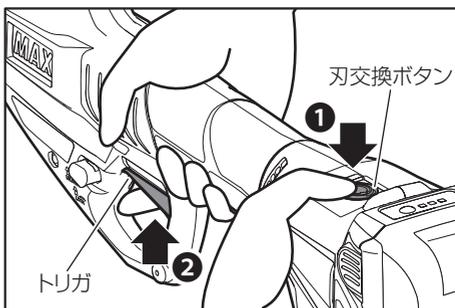
A：刃交換モードへは電池パックを挿し、トリガをアンロック(ロック解除)にする。



B：トリガを操作し、起動する。



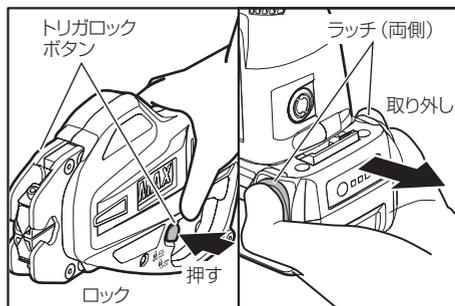
C：「刃交換ボタン」を押した状態で、トリガを引く。  
ゆっくりと刃が閉じる動作を行い、トリガから指を離しても刃が閉じた状態になります。



③刃交換モードの状態(刃が閉じた状態)で、トリガをロックし、電池パックを外します。

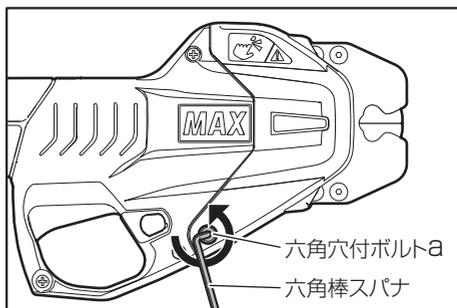
### ⚠ 警告

- 刃の交換の際は必ずトリガロックをロック側にし、電池パックを本体から外した状態にしておく。
- 刃が開いたままカバーを開けてしまった場合は必ずカバーを閉じ、刃交換モード状態にする。



## STEP1. 刃の取り外し方 (つづき)

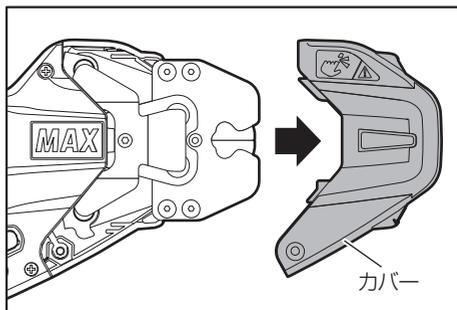
- ④六角穴付きボルト**a**を六角棒スパナで緩め、ボルトを取り外します。



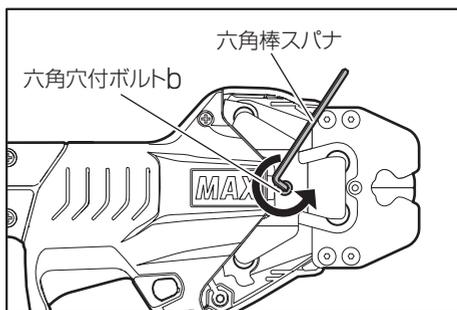
- ⑤カバーを外します。

### ⚠ 注意

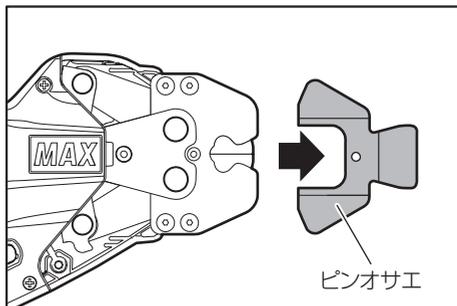
- カバーを外した状態で機械を動かさない。



- ⑥六角穴付きボルト**b**を緩め、ボルトを取り外します。

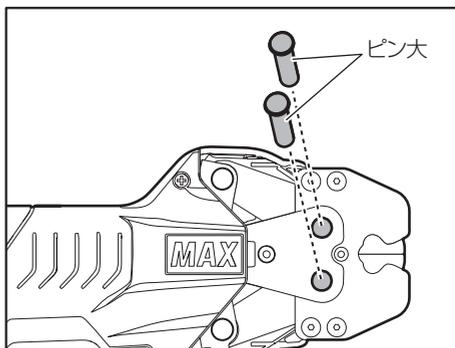


- ⑦ピンオサエを外します。

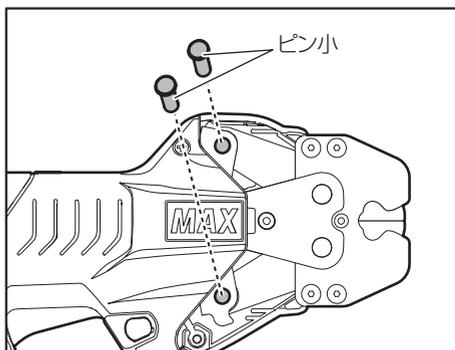


## STEP1. 刃の取り外し方 (つづき)

⑧ピン大を2本抜きます。



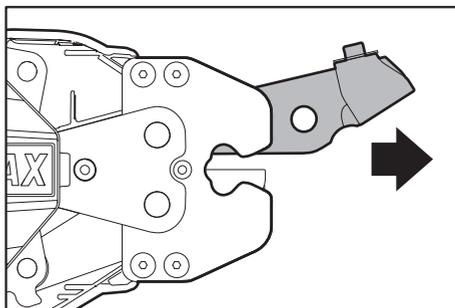
⑨ピン小を2本抜きます。



⑩刃を外します。

**⚠ 警告**

●必ず手袋をはめて作業する。

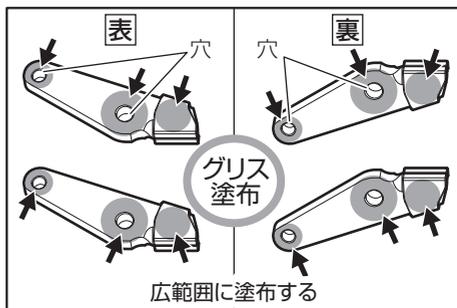


## STEP2. 刃の取り付け方

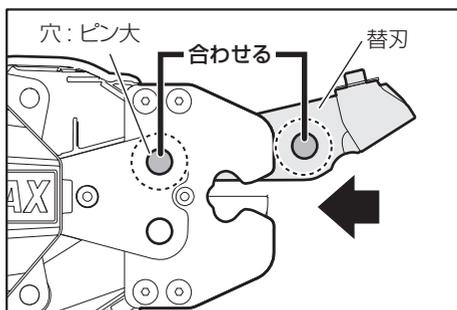
- ① 刃とクッションラバーに付属のグリスを計12か所(3か所×表裏×2枚) 塗布します。

### ⚠ 注意

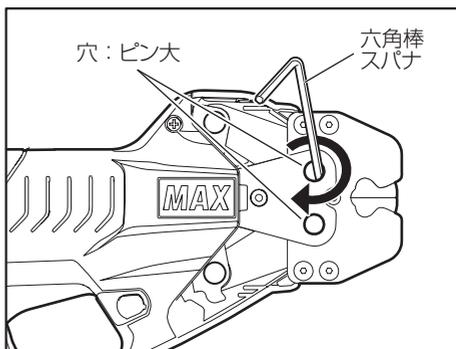
- グリスを塗布しないと、工具の機能障害を引き起こす可能性があります。



- ② 刃を挿入し、ピン大を通すための刃の穴を合わせます。



- ③ 付属の六角棒スパナをピン大穴に挿入し、円を描くように動かし、内部部品の位置合わせを行ってください。

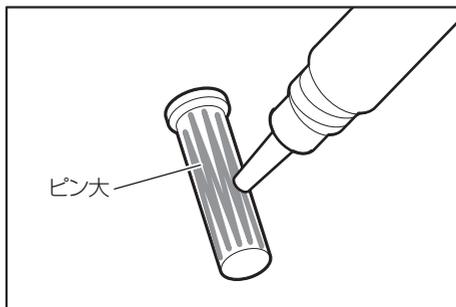


## TEP2. 刃の取り付け方 (つづき)

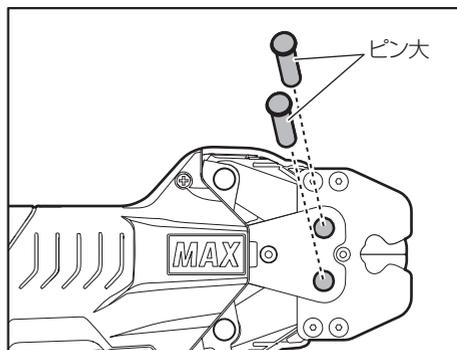
- ④ピン大(2本) 軸全周に、替刃に付属のグリスを塗布します。

### ⚠ 注意

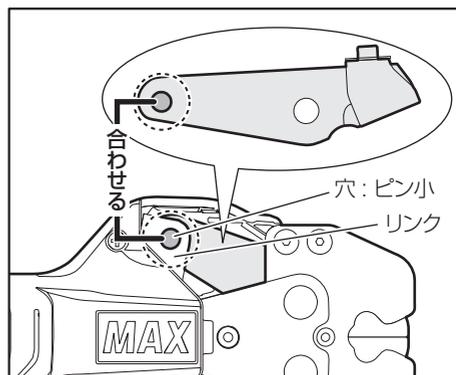
- グリスを塗布しないと、工具の機能障害を引き起こす可能性があります。



- ⑤ピン大を2本差し込みます。



- ⑥リンクと刃のピン小を通すための穴を合わせます。

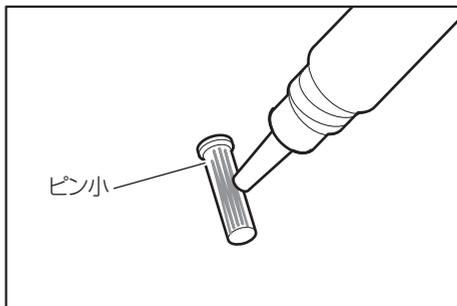


## STEP2. 刃の取り付け方 (つづき)

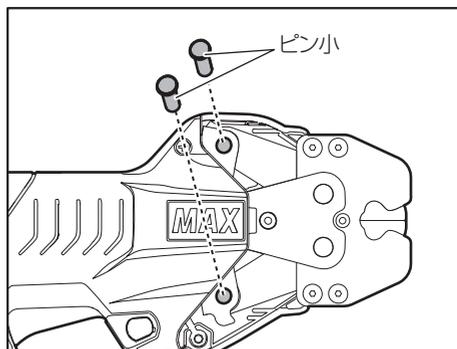
- ⑦ピン小(2本) 軸全周に、替刃に付属のグリスを塗布します。

### ⚠ 注意

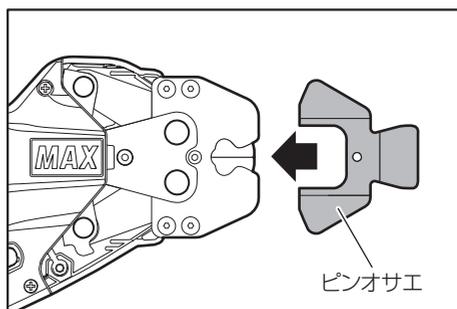
- グリスを塗布しないと、工具の機能障害を引き起こす可能性があります。



- ⑧ピン小を2本差し込みます。

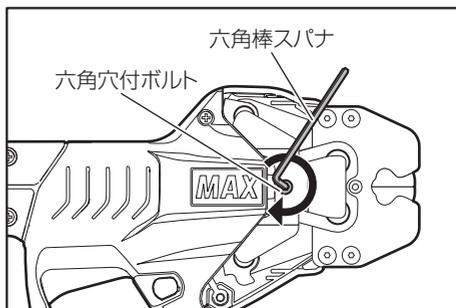


- ⑨ピン大とピン小が差し込まれていることを確認してから、ピンオサエを取り付けます。

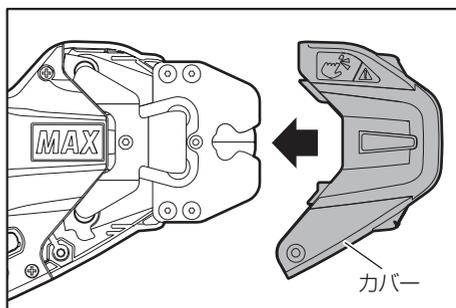


## STEP2. 刃の取り付け方(つづき)

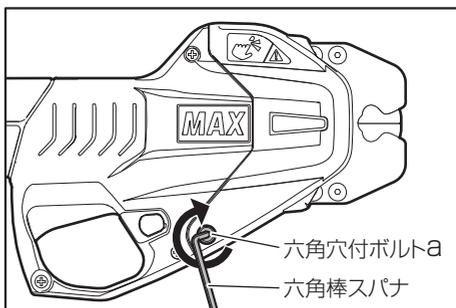
- ⑩ 替刃に同梱されている新しい六角穴付ボルトを取り付け、六角棒スパナで締めます。(締付トルク2.0N・m)



- ⑪ カバーを付けます。



- ⑫ 六角穴付きボルトaを締めます。  
(締付トルク1.25N・m)



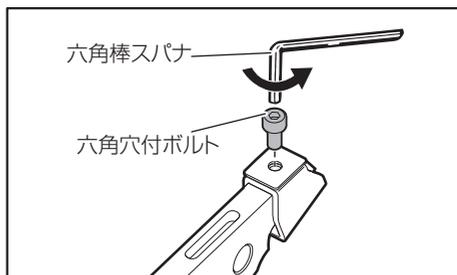
以上の工程が終わったら、本体に電池パックを装着し、動作の確認を行ってください。正常に作動すれば、交換作業終了です。正常に作動しない場合は、刃の交換方法 (P20) の手順に従い、再度刃を外して取り付け直してください。それでも正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店またはマックスエンジニアリングサービス(株)へ点検・修理に出してください。

# クッションラバーの交換方法

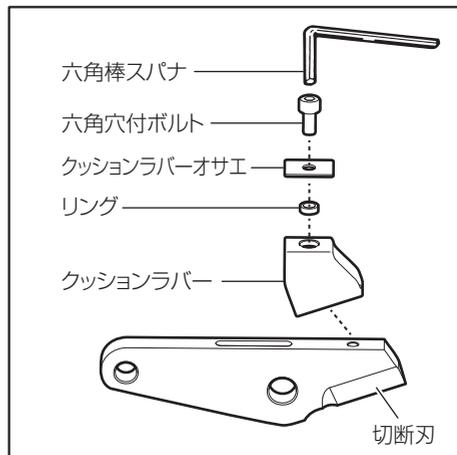
クッションラバー	
部品番号:PJ16379	
用途	切断した端材の飛散低減を目的とした部品です。
交換の目安	本部品が劣化した際、交換することも可能です。
※替刃(PJ91755)に本部品は付属しております。	

①「STEP1、刃の取り外し方」にて刃を取り外します。

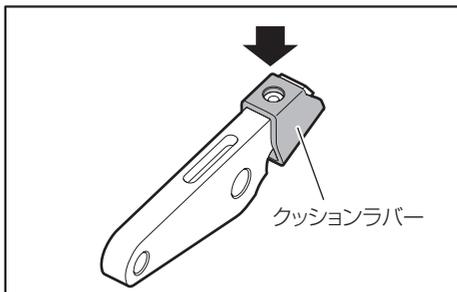
②六角穴付ボルトを六角棒スパナで緩め外します。



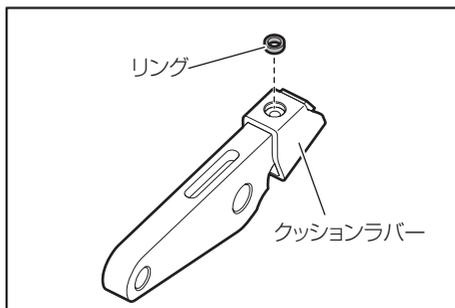
③クッションラバーオサエ、リング、クッションラバーの順に外します。



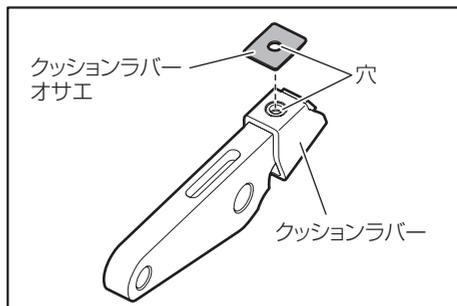
④切断刃に新しいクッションラバーを刃にはめ込み装着します。



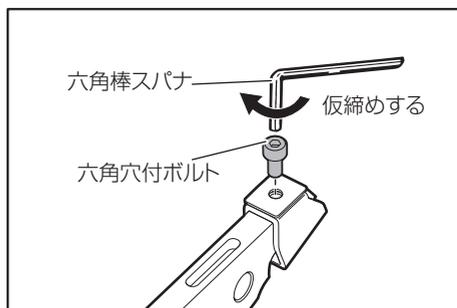
- ⑤ リングをクッションラバーの穴に合わせてはめます。



- ⑥ クッションラバーオサエをネジ穴に合わせてクッションラバーの上に置きます。

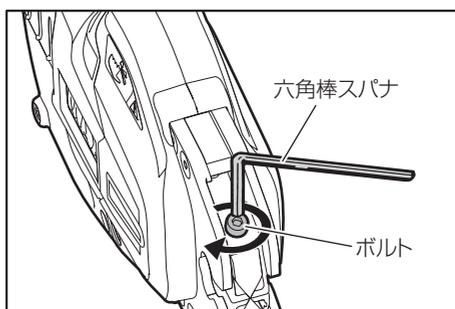


- ⑦ 六角穴付ボルトを付属の六角棒スパナで仮締めします。  
※機械本体に刃を取り付けた後、本締めします。



- ⑧ 「STEP2、刃の取り付け方」にて刃を取り付けます。

- ⑨ 「クッションラバー」を留めている両刃のボルトを増し締め(2度締め)します。  
(締付トルク3.0N・m)

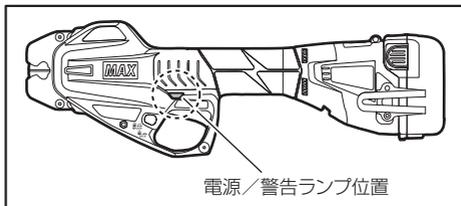


# 電源／警告ランプの見方と処置方法

本機は機械の状態を電源／警告ランプにて表示します。  
 対処が必要な際には下記状態に合わせて処置してください。

## 警告

- 下記状態になりましたら必ずトリガをロックし、電池パックをはずしてから処置を行う。
- 作動する時は先端部、刃には絶対に触れない。



### ●(電源／警告ランプの色)

ランプの状態	通電(緑色)	エラー(赤色)	電源供給なし(消灯)
●: 点灯 ●: 点滅 ○: 消灯			

### ●正常時(電源／警告ランプは緑色)

ランプの状態	正常(緑色)	機械停止(緑色)
●: 点灯 ●: 点滅 ○: 消灯		
表示内容	—	電池残量なし
対処方法	—	充電してください。

### ●エラーまたは故障発生時(電源／警告ランプは赤色)

ランプの状態	エラー(赤色)		
●: 点灯 ●: 点滅 ○: 消灯	●...●...●...●...●...●...●	●●...●●...●●...●●...●●	●●●●●●...●●●●●●
エラー	1回点滅繰り返し	2回点滅繰り返し	5回点滅繰り返し
エラー	高温保護(機械または電池)	本体刃ロック	機械保護
表示内容	機械または電池が高温です。	切断中に刃がロックしました。	その他トラブルがあります。
対処方法	機械または電池を休ませ、熱を冷ましてください。	部材への刃の当て方、切断対象径を確認してください。	電池パックを差し直してください。表示が消えない場合は、ご購入の販売店またはマックスエンジニアリングサービス(株)までご相談ください。

## 高温保護機能

機械または電池が高温になると、機械が動かなくなる回路を搭載しています。  
ご使用中を中断し、トリガをロックし、電池パックをはずして、機械または電池が冷えるまでお待ちいただき、作業を再開してください。

### ⚠ 注意

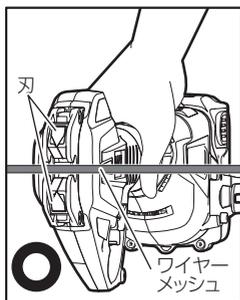
- 高温保護機能が頻繁に作動するような使い方はしない。  
故障の原因となります。

## 対象切断部材に刃がかみこんでしまった場合の対処方法

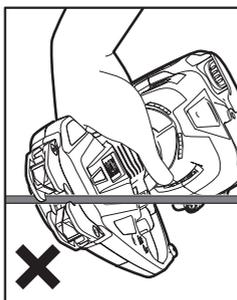
刃が対象切断部材にかみこんでしまった場合（切断動作で切断し切れなかった場合）は、トリガをはなしてください。  
電源／警告ランプが赤色2回点滅にて刃がロック状態であることを確認の上、再度トリガを引いてください。刃が開く方向に動きます。刃が開ききった後、部材からゆっくり引き抜いてください。

### ⚠ 警告

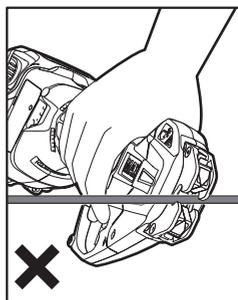
- 刃の破損・飛散による失明などの重大なけがを招くおそれがあります。  
部材が切り切れなかった、または刃がロックした際、横方向の動き（こじめるような動作）をしないでください。



＜正しい使い方＞



＜刃の破損を招く切断中の横方向の動き＞

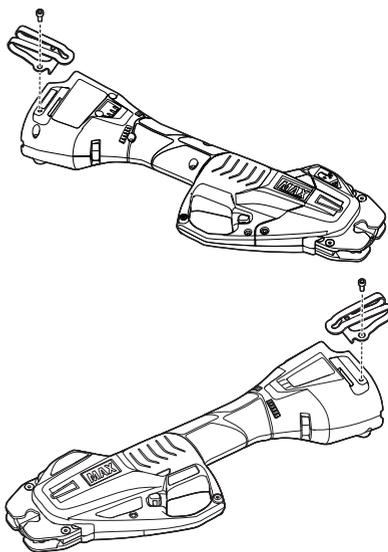


## 電源／警告ランプでエラーが表示されず故障かなと思ったとき

症状	想定される原因	対応方法
トリガを引いても動かない	電池切れ	新しい電池パックに差し替えて動くか確認する。
本体が作動しない	オートパワーOFF機能が働いた	電池パックを差し直して、トリガを操作する。
切り切れない	強度、サイズが対象外	対象強度、切断径内で使用する。
	先端で切断	深くまで差し込んで切断する。
	刃がへこむ、欠けている	刃を交換する。
ロック回数が増える	環境温度外	対象環境温度で作業する。
異音がする	部品の摩擦・破損	ただちに使用を中止する。

# ベルトフックの取付方法

ベルトフックは左右の取付ねじ部に、M4六角穴付ボルトで取り付けられています。左右の位置を替えるなど、再度取付ける際は、締め付けトルク1.25N・m (12.5kgf・cm) で締め付けてください。



## 保守・点検

### 本機を大切に使う

落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。

### 圧縮空気を当てない

本機に圧縮空気を当てないでください。異物が内部に入り、故障の原因となります。

### 定期的に点検をする

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はマックスエンジニアリングサービス (株) へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

### 作業後の保管

- 作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下のおそれがある所は避けてください。
- 電池パックを長持ちさせるために、長期間 (6ヶ月以上) ご使用にならない場合は、以下のことに注意して保管してください。

### ご注意

- 充電してから保管する。
- 温度が50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。
- 水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。
- 運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡 (ショート) を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず本機・充電器から取り外して保管する。
- 本製品は日本国内専用仕様です。

# 保証、アフターサービスについて

## 保証について

- 本機には保証書（外箱スリーブに添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
- 定期交換部品については、保証対象外となります。

## アフターサービスについて

- 本機の調子が悪いときはすぐに使用を中止し、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス（株）へ、ご購入の販売店を通じてご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

# 本体にある記号および図解

	先端部・刃に手を近づけないでください。
	正しい使い方 必ず行うことを表します。
	トリガロック解除 トリガロック
	使用電圧単位
	直流電流使用
	警告および注意
	刃交換ボタン

●マックスお客様ご相談ダイヤル  
月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）

☎0120-228-358

【ナンバーディスプレイ】を利用しています。

## マックス株式会社

### ●販売拠点等

札幌	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011)261-7141
仙台	支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022)236-4121
盛岡	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019)621-3541
東京	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03)3669-8118
埼玉	営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048)651-5346
横浜	営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045)364-5661
新潟	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256)34-2112
多摩	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042)528-3051
群馬	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027)353-7075
長野	営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263)26-4377
東関東	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029)835-7322
名古屋	支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052)918-8621
静岡	営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054)205-3535
金沢	営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076)240-1871
大阪	支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06)6444-2078
京滋	営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075)645-5061
岡山	営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086)246-9516
四国	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087)866-5599
松山	営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089)913-1893
沖縄	営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098)875-3577
広島	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082)291-6331
福岡	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092)411-5416
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099)269-5347

### ●マックスエンジニアリングサービス(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820
札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL(022)237-0778
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL(052)918-8624
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL(06)6444-2089
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。



4103942  
250311-00/03

### 便利メモ

お名前				商品名 PJ-C060
お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店名				☎